

令和7年度 学びの収穫祭 展示発表一覧

2月28日(土)～ 5月未定

コアタイム 2月28日(土) 13:00～14:30

3月 1日(日) 10:30～12:00

No.	発表者氏名 (団体名)	発表タイトル
P01	相模原市立博物館市民学芸員 紙芝居クラブ	創作紙芝居「がんばれモモンガのモンタ」制作について
P02	相模原市立博物館天文クラブ (SMAC)	2025年度 博物館天文クラブの活動報告
P03	相模原縄文研究会	2025年 相模原縄文研究会の活動
P04	相模原植物調査会	今年注目の植物の話題
P05	相模原地質研究会	2025 相模原地質研究会 活動報告
P06	さがみホネホネ団	さがみホネホネ団 活動内容の紹介
P07	福の会	「福の会」の活動報告
P08	ぶらり!相模原盃状穴調査隊	相模原の盃状穴調査
P09	東 千央・徳山友紀 (麻布大学 動物応用科学科 青根炭窯講中)	「あおねずみ」できました -青根で炭窯を復活させるプロジェクト2025年度報告-
P10	種田皓太・可児成海 (麻布大学 環境科学科 かにくらぶ)	iNaturalist を活用した生き物調査のプロジェクト iNaturalistで広がる生物多様性の輪
P11	櫻井友樹・山本蒼士・村上 賢・塚田英晴 (麻布大学獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室)	関東平野部の市街地に生息するホンドリツネの河畔分布及び食性
P12	大野村いつきの保育園	なぜな～ぜ / ミカンだいすき
P13	高本菜夏・松本朝子・薄田 暁 (神奈川県立相模原高等学校 科学研究部)	もう捨てる時代はオワリ! 虫もおののくイチョウの落ち葉から作る葉脈紙
P14	松本朝子・土屋結那 (神奈川県立相模原高等学校 科学研究部)	ビスマス結晶の形状と温度との関係の調査
P15	井上夏希・遠藤春香 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 サイエンス部)	自然生まれの安全たっぷり添加物 ～辛味食品を添えて～
P16	岩神昊良 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 サイエンス部)	磁石を使って浮遊する方法
P17	愛澤真帆・大原紗那 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 サイエンス部)	天然素材で自然をクリーンに ～お掃除殻身 身の回りのお悩み具消～
P18	酒井道崇 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 サイエンス部)	どっちに動く? ～ゴキブリみたいで嫌われがちなエンマコオロギの行動について～
P19	岩男治明・高水龍真・湊 達也・田坂優翔・白鳥恵暉・ 皆川柊馬・立石和也 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 サイエンス部)	そらみるくん ～雲の割合による気象条件の法則性を導き出そう!～
P20	酒井道崇・渡邊真奈・南優希奈 (神奈川県立相模原弥栄高等学校 理数探究基礎2年次・地学専攻)	「おはようさん」 ～気持ちの良い目覚めをサポートする機器の作製～
P21	菊田瑞己・三浦 爽・藤村友蔵・下口直久・長谷部勇太 (光明学園相模原高等学校 理科研究部・神奈川県環境科学センター)	特定外来生物クリハラリスの食性分析
P22	三宅 潔 (昆虫文化を子供たちに伝える会)	昆虫文化を子供たちに伝える会の活動紹介とカブトムシファームに現れる野生動物について
P23	相模原市自然環境観察員	ツバメの巣の分布調査
P24	榎本成己 (相模原市自然環境観察員)	「城山の山野草その他の生き物」調査と小冊子作成
P25	増田侑太郎・立木佑弥 (相模原市自然環境観察員・東京都立大学)	海からやってきたイソヒヨドリ -相模原市における分布と生息環境-
P26	城山公民館城山エコミュージアム委員会	令和6年度 城山エコミュージアムツアー (半日コース) テーマ: 穴川の里を訪ねて～今も残る里山の原風景～
P27	東京科学大学附属科学技術高等学校 科学部 スゴはや2プロジェクト	キミも はやぶさツアーになる! わくわくフライバイ体験
P28	さがみホネホネ団フクロウチーム	巣箱で営巣したフクロウの餌内容について
P29	小久保太凱 (東京大学理学系研究科 地球惑星科学専攻)	飛驒山脈北部、立山火山 10～7 万年前噴火におけるマグマプロセス
P30	猿丸修太郎・塚田英晴・山本蒼士 (麻布大学獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室)	ヒガシニホントカゲの尾色彩にみられる地域間差
P31	富岡民年・山本蒼士・塚田英晴 (麻布大学獣医学部)	関東近郊におけるクリハラリスの生息状況と分布拡大予測
P32	安井草介・山本蒼士・塚田英晴 (麻布大学獣医学部 動物応用科学科 野生動物学研究室)	急傾斜山間部傾斜地における獣道の分布特性と形成要因の解明

※発表タイトル等は予定です。当日、予告なく変更となる場合があります。